



VISION

認知症になっても
変わらない暮らしができるまち



NPO 法人
認知症フレンドシップクラブ

すべてのまちで認知症にやさしい まちづくりの拠点をづくり、つなげていく。

まちづくり

つくる
創造

よりそう
伴走

つながる
協働

認知症を生きる人が、地域の中で当たり前暮らし「やりたいこと」ができるよう、医療や介護の枠組みを超えて、さまざまな人がつながり、社会を変える大きな力にすることを目指しています。

認知症フレンドシップクラブ history

2007年・団体設立（北海道）
2008年・まちづくり活動スタート
2009年・活動拠点全国各地で設立
2011年・RUN伴スタート
2016年・be Orange 開始
RUN 伴日本縦断達成（北海道～沖縄）
2018年・多世代まちづくりプロジェクト開始
2020年・Web 講演会実施



私達が暮らす社会は様々な危険に満ちています。ですが、危険の除去だけでは暮らしやすい社会は実現できません。

認知症フレンドシップクラブは、認知症と生きる人たちが安心して暮らせる町の実現をめざし、「安心」と「信頼」を一つでも多くの地域に生み出す支援活動を続けています。

認知症フレンドリーな社会の実現にむけ、お力をお貸しください。

RUN伴

RUN伴(ラントモ)とは

出会う

認知症の人々と
出会う・繋がる。

考える

ジブンゴトと
して考える。

アクション

それぞれができる
アクションを。

認知症の人と地域の様々な人たちが、一緒になってタスキを繋いで走るという経験の共有から、一人ひとりが認知症にやさしいまちづくりを考え進めていくことを後押しする、まちづくり活動の支援ツールです。

認知症を生きる人と出会うきっかけがなかったために認知症へのマイナスイメージを持ってしまいがちだった地域の人々も、一緒にタスキを繋いで走る喜びや達成感を共有することから、認知症の人も地域で共に暮らす大切な隣人であることに気付かされます。RUN 伴は、そんな人々の出会いと気付きの場をデザインし、顔の見えつながらを各地で生んでいます。

フェーズ 1

タスキリレーで地域と地域が線でつながる！

2011年～2020年



活動実績

実施地域：42 都道府県
述べ参加者数：77,361 名
(内、認知症の人：7,637 名)
パートナー企業・団体：47
※2023 年 3 月 31 日時点

2011年から始まったRUN伴では、認知症フレンドシップクラブが主体となってRUN伴を開催することにより、認知症を生きる人と地域で暮らす人たちが出会い、お互いを知り、それぞれに気づきを得て認知症をジブンゴトとして考え始めていくアクションや啓蒙活動が、RUN伴を通じてより多くの地域に広がっていくことを目指して活動をしてきました。



フェーズ 2

RUN伴を通したまちづくりが面でひろがる！

2021年～現在



活動実績

2023 年度開催登録
RUN 伴全国版
RUN 伴都道府県：10
RUN 伴+：39
※2023 年 3 月 31 日時点

2021 年からは、地域に蒔かれたジブンゴトの種をどの様に大きな芽として育て成長させていくかに重きを置き、それぞれの地域が主体となってRUN伴を開催してきています。それは、各地域がそれぞれの特徴にあった形で町づくりに取り組むことで、地域に面として共生社会への実現にむけた動きが広がっていくことを目指しているからです。まちづくりツールとしてのRUN伴を活用し、地域が認知症フレンドリーな町へと変化していくための支援を続けています。



RUN伴タスキをつなぐ参加者の声



entry 参加者の声

初めて「RUN 伴」に参加したのは、2012 年函館でした。走れるかどうか心配しながらの参加でしたが、サポートして頂きながら気持ちよく完走できました。

中村 成信さん

2011 年の初回よりお手伝いをさせて頂いています。出会いと感動の筋書きのないドラマに勇気ももらっています。

細田 政裕さん



volunteer 実行委員

sponsorship 協賛支援

沢山の名前が汗で滲む襷を繋ぐ意味を考えながら走っていました。RUN 伴の信念と意義に心から賛同します！

株式会社浅井ゲルマニウム研究所



be Orange

「be Orange（認知症まちづくり基金）」は、

認知症の人と伴にまちづくりを促進するための民間基金です。認知症の人や家族だけでなく、地域社会や民間企業なども巻き込んで、認知症の人が暮らしやすい社会・地域の実現をめざしています。趣旨に賛同する全国各地の個人・団体や企業などからの寄付が原資となり、社会を変えていくためのチャレンジな企画に投資していきます。

まちづくり活動の成長を応援

System

募集

まちづくりのチャレンジを個人・団体から公募！

投票

全ての応募プロジェクトを WEB 投票で応援！

決定

投票と選考委員会により助成プロジェクトが決定！

be Orange 助成部門

認知症にやさしいまちづくりをスタートしたい、仲間を増やして活動を進めたいチャレンジを応援中！

過去の助成プロジェクトの一部を、写真でご紹介します！

A 部門 認知症の人自身による活動や発信

認知症の人が主体となって行う活動あるいは、認知症の人の声を地域・社会へ伝えていくことをサポートする事業が対象。

B 部門 認知症の人の雇用・働く場づくり

認知症の人が働く場づくりに関する事業が対象。

C 部門 認知症の人にやさしいまちづくりを推進するチームづくり

認知症の人にやさしいまちづくりを推進する職種やセクター横断型のチームビルディングやスキルアップのための事業が対象。

D 部門 認知症の人にやさしいまちづくりに関する調査研究

認知症の人にやさしいまちづくりに関する社会科学的な調査研究が対象です。認知症の課題に関心を寄せる若研究者や大学院生などの研究やフィールドワークなど。

E 部門 その他 A～D 部門に該当しない、認知症の人にやさしいまちづくりに資するプロジェクト

学生連携活動企画枠

学生と地域の団体が連携する、認知症にやさしいまちづくりに関する企画。



A 部門・「おれんじドアから日本認知症ワーキンググループみやぎ」おれんじドア（宮城県）



B 部門・「2017 フンドゥーフつながる、人、仕事、思い」就労型活動グループフンドゥーフFunDo（沖縄県）



C 部門・「まるごとと生き生き！行きたくなる居場所」marugo-to（新潟県）



D 部門・「誰もが『生ききった！』と思える社会へ」慶應義塾大学井庭崇研究室（神奈川県）



E 部門・「買い物ヘルプサポートプロジェクト」NPO 法人たすけ愛京築（福岡県）



学生連携・『旅のこぼれ』で中高大をつなぐ 熊本県立第二高等学校家庭クラブ、DFC 山鹿（熊本県）

活動実績

開始年：2016 年 応援プロジェクト数：28 プロジェクト、一般投票者数：延べ 2,700 名以上
助成地域：北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、奈良県、京都府、大阪府、兵庫県、長崎県、福岡県、熊本県、沖縄県（岐阜県、和歌山県、大分県）

支援団体：住友金属鉱山株式会社、一般社団法人 礪、RUN 伴都道府県および RUN 伴+開催地

主催団体他 ※2023 年 3 月 31 日時点



<http://www.be-orange.jp/>



2019 年 認知症まちづくり基金 採択事業者活動報告会

認知症まちづくり基金では、趣旨に賛同する個人や団体・企業などからのご寄付を募集しています。

ネットワーク活動



地域の活動拠点をつないで、 全国のまちづくり活動を後押し

認知症フレンドリーなまちづくり活動の拠点となる地域の団体が、全国の同じような団体とDFCの名前の下にネットワークを作り、お互いに支え合いながら活動の質を高める努力を続けています。



【加盟団体】

DFC 札幌・石狩	DFC 横浜	DFC 奈良
DFC 函館	DFC 魚沼	DFC 西播磨
DFC 帯広	DFC 富士宮	DFC 福岡（行橋）
DFC 恵庭	DFC 豊中	DFC 山鹿
DFC 町田	DFC あべの	DFC 沖縄
DFC 品川	DFC 岸和田	※2023年4月現在

Web 講演会・勉強会

認知症と生きることを共に学びながら、共生社会に向けた地域でのアクションを一緒に考えています。

〈活動実績〉

- 2021年6/18「COVID-19のリアル～「その時」何が起きるのか：認知症グループホーム～」
- ・12/4「地域で生きる－遺品整理から見る生き様・死に様」
- 2022年7/17「認知症の『弱さ』だと思われがちなポイントを再考する」
- ・8/21「この人たちに伝えたいこと（当事者・家族・社会：既存概念を疑ってみる）」
- ・9/25「これからの世界に望むこと（感染・気候変動・紛争の世界を生きる）」
- ・11/26「若年性認知症サポート活動から見える地域」

拠点：各地でまちづくり実践中！



DFC 富士宮のチャレンジ

キャラバンメイト・介護・病院・商店・工房・ラジオ局・包括・社協など約30名。ソフトボール・旅行・宮踊り参加、RUN伴・Dシリーズ運営など楽しんでいます。



DFC 西播磨のチャレンジ

ご本人と観光地を調査したり、認知症に理解のある仲間や店舗を増やしたりして、認知症にやさしい西播磨の旅「D★Trip」の実現に向けて取り組んでいます。

メンバーミーティング

加盟団体がテーマを出し合い、活動上での困りごとや課題などをざっくばらんに話し合っています。

〈活動実績〉

- 2021年4/30「地域課題」
- ・6/11「繋がりが見える化」
- ・9/17「新米認知症コーディネーターが見える世界から」
- 2022年2/18「高校生グループホームインターン報告」
- ・5/13「RUN伴を振り返る」
- ・10/14「これからのチャレンジ」
- ・2/24「各地の活動状況」



災害支援・互助活動

緩やかなつながりの中でも、何かあったときにお互いに支援し合える関係と体制とを構築しています

〈活動実績〉

- ・2016年4月：熊本地震（支援物資；おむつ、衛生用品など）
- ・2020年7月：九州豪雨災害（支援物資：靴、デッキブラシ、スコップ、土のう袋など）
- ・2021年2月：新型コロナウイルス感染症 北海道グループホーム（支援物資：マスク、防護服など）



認知症になっても、変わらない暮らしを支えたい。

参加者募集中です

認知症フレンドシップクラブが主催する活動や各地の拠点が行う活動など、さまざまなまちづくり活動を実践中です。ぜひ、身近な場所のチャレンジにご参加ください。

1、RUN伴に参加、地域で開催したい

参加方法：開催地域を募集！毎年1～2月に開催説明会を行っています。詳細はRUN伴HPやFacebook公式ページにてご確認ください。

2、beOrange に応募、投票に参加したい

参加方法：夏～冬にかけて、be OrangeHP や Facebook 公式ページにて公表し受付いたします。

3、DFC の講演会やイベントに参加したい

参加方法：参加方法は、イベントを探すことができるサイト「Peatix」で受け付けています。

ご寄付ご協力下さい

みなさまからの応援は、認知症にやさしいまちづくり活動に活用させていただきます。

活動内容

◎認知症になっても変わらないまちづくりを実施していくための費用

◎認知症の人や家族の課題を調査するための費用

◎認知症フレンドシップクラブの運営費用

【銀行振込でのご寄付】

銀行名：ジャパンネット銀行

支店名：ビジネス営業部

口座種目：普通預金

口座番号：1551751

口座名義：特非）認知症フレンドシップクラブ

口座表示：トクヒ）ニンチショウフレンドシップクラブ

加盟団体募集中！

認知症フレンドシップクラブでは、認知症に優しいまちづくりを進める地域の活動拠点をつなぐ DFC ネットワークを組織し、情報交換や活動協力・支援、また緊急災害時などの相互援助をはじめ、認知症に関する学びや啓蒙活動などを行っています。

ご興味のある方、また同じ志を持つ仲間たちとネットワークを作りたいと考えていらっしゃる方、ぜひ私たちの仲間としてネットワークに所属してみませんか。

〈会員特典〉

- ・会員特典メンバー限定ミーティング
- ・講演会会員特典割引
- ・会員特典互助への参加

※ ネットワークへの加盟には、加盟団体からの推薦とともに、理念共有や地域活動状態などのヒアリングを経て決定されます。お問合せは代表アドレスまでご連絡ください。

